

低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2020年 9月 18日

(提出先)
横浜市長

住所 富山県富山市牛島町15番1号

氏名 北陸電力株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 金井 豊

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	北陸電力株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 金井 豊
主たる事業所の所在地	富山県富山市牛島町15番1号
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	○小売電気事業 1951（昭和26）年創業以来、北陸エリアのお客さまに電力販売を行っております。2016（平成28）年から、電力小売全面自由化に合わせて、首都圏エリアで電力販売を開始しております。 ○発電設備（2017年度末） 水力発電所：131か所1,929kW、火力発電所：6か所4,825kW、原子力発電所：1か所1,746kW、新エネルギー：4か所4kW <合計>142か所8,504kW ○その他 電気事業以外に熱供給事業、ガス供給事業、電気通信事業などを展開しております。
担当部署 連絡先	事業所名 北陸電力株式会社
	部署名 エネルギー営業部
	電話番号 076-441-2511
	E-mail yoihokuriku@rikuden.co.jp

2 対象年度

提出年度 2020年度
(当年度)

3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

<p><発電事業に係る取組方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・志賀原子力発電所の安全対策工事を着実に実施し、早期再稼働の実現を目指します。また、石炭火力については、バイオマス燃料比率の増加や熱効率向上に取り組みながら引き続き利用していきます。更に、水力発電電力量の増加や新規地点の発掘強化等、再生可能エネルギーの導入拡大にも取組み、積極的に電源の低炭素化を目指して参ります。 <p><販売事業に係る取組方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー固定価格買取制度の買取期間満了後も、お客さまの再生可能エネルギー発電設備からの電気を引き続き買い取りさせていただくことで、電源の低炭素化に取り組んで参ります。 <p><その他の温暖化対策に係る取組方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ・ウォームビズの実施やLED照明への取替え等によるオフィスの電気使用量の削減の取組みを継続的に実施・拡大していくことに加え、北陸エリアでの森林保全活動、書類のリサイクル、電気自動車の利用等も推進して参ります。
--

4 推進体制

・当社は2019年5月に、「気候変動が事業活動にもたらすリスク・機会を分析し、情報開示を推進する」というTCFD提言の趣旨に賛同しました。今後もTCFD提言に沿った情報開示を進めるとともに、更なる電源の低炭素化に積極的に取り組む等、気候変動が当社事業にもたらすリスク・機会に対し適切に対応し、社会の持続的な発展に貢献していきます。

・気候関連のリスクと機会に係る組織のガバナンスとして、以下のとおり取り組みます。

社長を環境管理最高責任者とする環境管理体制のもと、環境担当役員を委員長とする「環境対策委員会」を定期的に開催し、気候関連リスク・機会、指標等の評価・管理を行っています。また、環境対策委員会での審議結果については、取締役会に報告しています。

5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	担当部署にて適宜開示。

6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	北陸電力グループ統合報告書にて公表。

7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

・低圧のお客さまに対して実施している電気の見える化サービス（電気の使用量実績をインターネット上でお客さまご自身が確認できるサービス）を、高圧のお客さまにもご利用いただけるよう提供範囲を拡大し、お客さまの省エネルギー意識の向上を図っています。

	対応の可否	<input type="radio"/> 対応可 <input type="radio"/> 一部対応可 <input checked="" type="radio"/> 対応不可
RE100に対応した電気の供給	備考	現在、RE100に対応したメニューはございません。

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	年度	2019年度	2020年度	2030年度
	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]
基礎排出係数		0.510	削減に努力	削減に努力
把握率 (%)		99.845	—	—
調整後排出係数		0.497	削減に努力	削減に努力
メニュー別排出係数				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
前々年度の排出係数に対する前年度の排出係数の増減理由				
排出係数の抑制措置のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 志賀原子力発電所の安全対策工事を着実に実施し、早期再稼働の実現を目指します。 また、石炭火力についてはバイオマス燃料比率の増加や熱効率向上に取り組みながら引き続き利用していきます。 更に、水力発電電力量の増加や新規地点の発掘強化等、再生可能エネルギーの導入拡大にも取組み、積極的に電源の低炭素化を目指して参ります。 			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	年度	2019年度	2020年度
	実績値 [t-CO ₂]	実績値 [t-CO ₂]	計画値 [t-CO ₂]
全国総量		12449211	削減に努力
市内		42898	削減に努力

(A4)

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)		—	26234764	—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)			7428108	28.31
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
再生可能エネルギー (FIT電気)			1677520	6.39
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
未利用エネルギー			37309	0.14

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	実績値 [t-CO ₂]		実績値 [t-CO ₂]	
削減相当量				0

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

・北陸地域の豊かな水資源により、発電電力量構成比に占める水力発電の比率の高さを特徴としており、今後の水力発電電力量の更なる拡大に向け、新規水力発電所の開発や既存発電所の改修等による出力増加に努めて参ります。(2019年度 自社小売需要に対する発電電力量構成比では、水力発電が28% ※FIT分を除く)
 ・2019年度にバイオマス燃料の混焼増加に向けた試験燃焼を実施しました。今後、石炭火力発電所における木質バイオマスの混焼比率増加に向け、発電設備の改造およびバイオマス燃料貯蔵サイロ新設を検討していきます。

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

・発電設備の省エネルギー、クール・ウォームビズの実施やLED照明への取替え等によるオフィス電気使用量の削減等、推進してきた省エネルギーの取組みを今後も実施・拡大して参ります。
 ・CO₂削減につながる森林保全活動に北陸エリアで積極的に参加して参ります。
 ・機密書類をコピー用紙等にリサイクルし、お客さまに使用いただくという地域循環型リサイクルを展開して参ります。
 ・2030年度までに北陸電力株式会社・北陸電力送配電株式会社の社用乗用車約400台について電気自動車比率を100%へ向上することを目標とし、電気自動車の積極的利用やエコ運転の徹底によりCO₂排出量削減を推進して参ります。